

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

To Rotary club presidents and secretaries



インスピレーションになろう

ガバナー月信 Vol.12

国際ロータリー第2840地区〈群馬〉2018-2019年度

ロータリー親睦活動月間



2019 06

宮内ガバナー事務所
群馬県前橋市問屋町2-2 前橋問屋センター会館1F
TEL 027-212-2840
FAX 027-212-2841

目次

ガバナーメッセージ	01
地区補助金最終審査会	02
新規米山記念奨学生カウンセラーセミナー 新規米山記念奨学生カウンセラー・奨学生オリエンテーション	04
台日インターアクト国際交流歓迎会・さよならパーティー	05
第37回地区茶の湯倶楽部研修会	09
公共イメージ向上作戦の為に交通安全看板設置セレモニー	10
ぐんま経済新聞掲載企画について	11
年間行事予定表	13
新会員紹介・訃報	14
出席報告	17
コラム	18
森田ガバナーエレクトからのお知らせ	29
ハイライトよねやま	31
ガバナー事務所よりお願い	33

ガバナーメッセージ

国際ロータリー 第2840地区
2018-2019年度ガバナー
宮内 敦夫

RI特別月間テーマ：「親睦活動」

6月30日でガバナーとしての小生の任期を終わります。無事に最終月を迎えられたのは2840地区内の会員皆様の御理解とご指導、そしてご協力のお陰であります。心から感謝と御礼を申し上げます。地区運営に当たっては、竹内研修リーダー・田中直前ガバナーをはじめとする諮問委員会のパストガバナー各位のご指導と励まし、ガバナー補佐の分区内クラブとのパイプ役、各種委員会の委員長を中心とした委員各位の熱心な委員会活動、地区事務所の入山様、佐藤様、館林クラブの事務所の石川様に衷心から御礼申し上げます。ありがとうございました。

去る5月12日、森田年度の地区研修・協議会が、45ロータリークラブから500名近い次年度の会長・幹事・研修リーダー・委員長の参加を得て、三木明RI理事をお迎えし盛大に開催され、有意義な研修ができました。森田ガバナーエレクトをはじめ地区研修チームの皆様一同ホッとなさったことと思います。各クラブにおいては、7月からの新年度に向けて、クラブの運営方針の策定に今月はお忙しいことと推察いたします。RIマローニー会長のRotary Changes the World、また、森田ガバナーエレクトのClub Innovationを受けた各クラブの素晴らしいヴィジョンを練り上げてください。ご期待申し上げます。

今月の月間テーマは親睦活動です。親睦はロータリー活動の二大目標〈親睦と奉仕〉の第一の大事です。これなくしてはロータリー活動は始まりません。私は地区活動方針として「元気なクラブ作り」を挙げました。その原動力は「親睦」です。親睦が元気な活力のあるクラブを作り、元気なクラブが社会奉仕を生み、そして、新たな会員を引きつける、と私は考えています。

ロータリー用語では、親睦はFellowshipの訳語です。原義は「同じ利害関係で結ばれた、友情と協力に基づく仲間意識」です。同じ釜の飯を食う仲間であるという意識のことです。

1905年2月23日にロータリークラブは誕生しましたが、当初から親睦は綱領の一つでした。様々な分野の職業人が集まって知恵を寄せ合い、生涯にわたる友情を培うことのできる場を作ることがポール・ハリスの夢でした。1906年のシカゴロータリークラブの綱領の第1条：会員の事業利益の増大、第2条：親睦、でした。後に、社会奉仕が加えられたことはご承知の通りです。「入りて学び、出でて奉仕せよ」(Enter to learn, Go forth to serve)は、1947～1948年度のケンドリック・ガーンジーRI会長のテーマですが、「例会場に入ったならロータリーを(親睦)を学び、例会場を出たら奉仕しよう」と解されています。

地区補助金最終審査会

開催日：平成31年4月20日(土)
場 所：前橋商工会議所
報告者：地区副幹事 長柄 純

前橋商工会議所において地区補助金最終審査会が開催されました。開会宣言に続き下記の通り3名の方々より挨拶をいただきました。

森田ガバナーエレクトより「ロータリー財団の新制度として未来の夢計画事業がスタートし、当地区でもこの制度による補助金制度も定着し、2017～2018年度よりweb申請となり、報告書についてもweb上で提出できるという先進的な地区です。次年度の地区補助金委員長さん、またそれを担当する副幹事も同席させて戴いている最終審査会です。慎重審議宜しくお願いします。」

山田ガバナーノミニーより「地区補助金の実施も7年目になり、2840地区では2016-2017年度は46クラブ全部より、2017-2018年度も44クラブ29のプロジェクトの申請があり、本年度も45クラブより地区補助金申請が行われています。この実績は全国の中でも高い評価を受けています。地域に密着した事業を行い、公共イメージ向上に繋げていく計画となるようお願いいたします。」

牛久保R財団アドバイザーより「この補助金事業には、制約事項があり補助金は、いかなるグループも不当に差別したり、特定の政治的・宗教的見解を推進したり、完全に宗教を目的とした催し物を支援したり、妊娠中絶に関連する活動や性決定のみを目的とする活動を支援したり、武器や弾薬の購入資金に充てたり、ロータリー財団への新たな寄付またはロータリー財団の他の補助金への新たな寄付とすることはできない。グローバル補助金も含めると22の条項が列記されている。しかし年度毎で不都合な部分や特殊事情を鑑み修正等も行っているシンプルで明快な審査を行ってほしい。」

挨拶後最終審査が行われ、前回の審査会で条件付きや再提出の地区補助金報告について説明が行われ、条件付き内定が3件、事業未実施が4件、報告書未提出が2件となり補助金報告書の審査が終了しました。

続いて2019-20年度実施の45クラブより提出され、条件付き内定クラブの各分区補助金委員より説明が行われ、5クラブの申請が条件付きの再内定となった。今回の最終審査会で報告書等や条件付き申請書が有るので、6月21日(金)年度末審査会を行うことを決定し閉会宣言が行われました。



地区補助金委員会（最終審査会）

日時：平成31年4月20日(土)
場所：前橋商工会議所
司会：地区副幹事 長柄 純

次 第

10:00	開会 挨拶		補助金委員長 ガバナーエレクト ガバナーノミニー R財団アドバイザー	山田 利和 森田 高史 山田 邦子 牛久保 哲男
10:10	審査協議	2018-2019年度実施事業	地区補助金報告審査 資金管理委員長	渋澤 誠
12:00	昼食			
12:40	審査協議	2019-2020年度実施事業	地区補助金申請書審査 地区補助金委員長	今井 幸吉
13:50	総評		ロータリー財団委員長	板垣 忍
14:00	閉会		補助金委員長	山田 利和



山田補助金委員長



森田ガバナーエレクト



山田ガバナーノミニー



牛久保R財団アドバイザー



渋澤資金管理委員長



今井地区補助金委員長



板垣ロータリー財団委員長

新規米山記念奨学生カウンセラーセミナー 新規米山記念奨学生・カウンセラーオリエンテーション

開催日：2019年4月21日(日)
場 所：前橋問屋センター会館
報告者：地区副幹事 小池 敏郎

間もなく平成も終わり令和が始まろうとしている時、新規米山奨学生及びカウンセラーセミナーが11:30から3部構成で開催されました。1部はカウンセラーに対してのセミナー、2部はカウンセラーと奨学生に対してのオリエンテーション、3部は継続奨学生に対しての面接と長時間行われました。今年度のカウンセラーは新規の方が多く、又奨学生も昨年より2名多く16名です。食事の頃はお互いに緊張していましたが、カウンセラーに米山奨学生バッチをつけていただく頃には緊張もほぐれ笑顔になりました。その後、4月・5月分の奨学金が高木米山記念奨学会理事・竹内米山記念奨学会評議員から交付され、一段と笑顔が輝きました。又、イーカリーカレン米山学友会会長が、学友会への入会と学友会事業でボランティアへ参加して「よいチームで学ぼう」と呼びかけました。今後、継続の奨学生9名を含め25名の奨学生が、世話クラブの例会や行事に出席参加されますが、温かく時には厳しく接してあげてください。



台日インターアクト国際交流歓迎会・ さよならパーティー

台日インターアクト国際交流歓迎会

開催日：令和元年5月10日(金)
場 所：前橋中央情報経理専門学校
報告者：地区副幹事 関井 宏一

令和元年5月10日(金)13:45より、前橋中央情報経理専門学校本部に於いて、インターアクト台湾研修事業の、「台日インターアクト国際交流歓迎会」が開催されました。

台湾から留学生14名、引率ロータリアン6名、新北市清傳高級商業学校の校長を含む、担当者2名、地区役員及び、インターアクト委員会、前橋南ロータリークラブ、クラーク記念国際高等学校の校長含む、インターアクター総勢54名が参加。

田嶋宏樹委員長より出席者紹介の後、宮内敦夫ガバナーより「この台湾研修は、これからの若い人達を育てる上で、とても大変重要な事なので引き続きよろしくお願ひします。」と、歓迎と感謝の意を込めた挨拶をいただきました。

そして歓迎の挨拶をクラーク記念国際高等学校の清水洋校長より頂き「本校クラーク記念国際高等学校は、北海道大学の'boys be ambitious'で有名な、クラーク博士の精神を元に設立した高校の群馬校で、元来から国際色豊かな特色があり、今回の台湾との交流は本当に良かった」と、歓迎と感謝のこもったご挨拶を頂きました。

新北市清傳高級商業学校の林怡宏校長の挨拶の中で、「このような留学生制度のお陰で、日本と台湾の交流ができて、三重中央ロータリークラブと2840地区に感謝致します」と感謝の言葉を頂きました。

三重中央ロータリークラブ許日貴会長エレクトからは「RI第2840地区とインターアクトの事業を通じ、台湾との架け橋となっただき感謝します。今後もこの事業を続けていきたい」と、事業の継続性を訴える挨拶をされていました。

また、歓迎の言葉をクラーク記念国際高等学校の瓜生望真君は「台湾の留学で貴重な体験ができてとても良かった。また、皆さんと日本で会えてとても嬉しい」と、歓迎の言葉を述べ、清傳高級商業学校の羅又華さんは、日本語で「日本に再び来ることができ、ホストファミリーの方々と再開できて大変嬉しい」など、留学生の代表者同士、再会の実感がこもった挨拶がありました。

その後、台日インターアクト国際交流記念品贈呈が行われました。宮内ガバナーから、三重中央RC会長エレクトへ。三重中央RC会長エレクトから、宮内ガバナーへ。クラーク記念国際高等学校清水洋校長から新北市清傳高級商業学校林怡宏校長へ。新北市清傳高級商業学校林怡宏校長から、クラーク記念国際高等学校清水洋校長へ。

以上のプログラムで、滞りなく無事に終了しました。



宮内ガバナー挨拶



クラーク清水洋校長挨拶



林怡宏校長挨拶



許日貴会長エレクト挨拶



ガバナーから三重中央RCへ



三重中央RCからガバナーへ



クラークから新北市清傳高級商業學校へ



新北市清傳高級商業學校からクラークへ



記念撮影

台日インターアクト国際交流歓迎会・ さよならパーティー

さよならパーティー

開催日：令和元年5月11日(土)
場 所：前橋商工会議所
報告者：インターアクト委員長 田嶋 宏樹 (前橋南RC)

令和元年5月11日(土)16:30から前橋商工会議所2Fサクラに於いて「さよならパーティー」が盛大に開催されました。

オープニング「華龍太鼓」演奏

開会の辞

日本の皆様のご紹介

台湾の皆様のご紹介

歓迎の挨拶

歓迎の挨拶

乾 杯

参加学生の感想発表

インターアクト委員

RI第2840地区 インターアクト委員長

清傳高級商業学校

RI第2840地区ガバナー

前橋南ロータリークラブ 会長

RI第2840地区ガバナーノミニー

台湾からの参加者3名

ホームステイ受入家族1名、日本の学生1名

アトラクション「2840地区パフォーマンス令和バージョン」 第2840地区 群馬県生徒

「Tokyo Bon 東京盆踊り 我們在台湾見吧！台湾で会おうね！」 清傳高級商業学校生徒

大合唱「花は咲く」 生徒合同

「ジェンカ」 参加者合同

感謝の言葉

新北市清傳高級商業学校 校長

新北市清傳高級商業学校 生徒代表

次年度開催 挨拶

ロータリーソング 「手に手つないで」

閉会の辞

三重中央ロータリークラブ会長エレクト 許 日貴

林 怡安

RI第2840地区インターアクト委員

竹部 弘昭

RI第2840地区インターアクト委員

大嶋 茂

以上の内容で滞りなく無事に終了しました事をご報告致します。





第37回地区茶の湯倶楽部研修会

代表世話人 森田 均(渋川RC)

地区茶の湯研修も、今回で37回を数えることとなった。

年2回の開催のところ、これまで欠かしたことはないので、何と18年半もの長きにわたって続けていることになる。

この研修は、現在、日本の全地区の中でも唯一の茶の湯に関する研修であり、開催年数、内容等からしても、他地区に大いに誇れるものと言っても過言ではないと史料する。

さて今回の研修会は、好天に恵まれた陽春の平成31年4月28日、宮内敦夫ガバナーがご住職を勤めておられる板倉町に所在する名刹「清浄院」で開催させて頂いた。

小職は、当日、他に役目柄どうしても出席しなければならない茶会が重複したため途中からの参加となったが、開催のセレモニー、そして仏門におられる宮内ガバナーならではの示唆に富む有意義な講話「仏教の教え」の後、阿部豊子世話人(館林東RC)が席主の茶会となり、参加者一同、心静かに思い入れの一服を喫した。

ここでいつもなら静かに松花堂弁当あたりを頂いて散会となるところだったが、今回は、宮内ガバナーが丹精込め育てた1000本余りの牡丹の咲き乱れる庭園に動座して、バーベキューパーティ(!)と相成った。

小暮地区幹事らロータリアンや地域の方々のお手伝いのもと、私たちは何もしないで、次から次への美味しい肉料理や苺やトマトなど地場の新鮮な野菜に舌鼓を打つのみ。

こうして参加者一同、最後の手打ちそばを頂いて満腹したところで、流れ解散となった次第である。

かくして37回目の地区茶の湯研修は、これまでの中でも特別な意味で記憶に残るものとなった。

結びに宮内ガバナーには、当日、大変お世話になった。

この紙面をお借りして心からお礼申し上げる。



公共イメージ向上作戦の為に交通安全設置セレモニー

大泉RC幹事 星野 薫

第4分区B5クラブでは、地区公共イメージ委員会活動方針の事業活動として、土屋孝夫ガバナー補佐が各クラブに働きかけた結果、分区内を通過する主要道路(国道122号線)沿いで、交通安全を呼びかける大看板(1,220×5,440)の設置を行う事になりました。大泉クラブの会員さんの事業所がこの主要道路沿い、大根村信号角にあり設置場所としては最良の場所という事になり、事業主の川島満男会員にお願いしたところ、ひとつ返事で快い了解をいただきました。看板の設置には、公的な厳しい制約等があり簡単に設置する事は出来ませんでした。館林土木事務所との交渉や大泉警察署への掲示お願いをするなど、宮内敦夫年度内での大看板の設置をとの思いで活動し、土木事務所の掲示認可を得て年度内に設置が出来ることとなりました。5月18日、槻岡行支地区公共イメージ委員会委員長、第4分区B5クラブの各会長、幹事、クラブの公共イメージ担当、大泉警察署荒船和男署長様、赤石裕司交通課課長様、看板掲示の外壁を提供くださいました(株)三蔵の川島満男社長様、看板製作にご協力いただきました東武総合広告(株)中島様(太田西RC)が参加し、荒船和男署長様、川島満男社長様のお二人にも、ご挨拶をいただき盛大に開設セレモニーを実施、終了することが出来ました。セレモニー終了後に参加者全員で記念写真を撮り掲示を祝いました。

この大看板が多くのドライバーの目に留まり“交通安全に対する啓発活動”の一役を担ってくれることと、地域でのロータリークラブの存在と公共イメージ高揚に繋がってくれることを願っています。



ぐんま経済新聞掲載企画について

ガバナー 宮内 敦夫
公共イメージ委員長 槻岡 行支

拝啓 初夏の候、皆様にはご清祥のこととお慶び申し上げます。
さて、先般各クラブへお知らせ及びご依頼をさせて頂きましたが、本年度も群馬経済新聞様のご協力を頂き、前年度に引き続き、ぐんま経済新聞に毎週、地区内45クラブのクラブ紹介を掲載させて頂きます。


掲載要項と掲載予定を再度お知らせさせて頂きますので、ご確認下さいますようお願いいたします。

尚、本年度は月信の紙面上で掲載面のご紹介ができませんので、掲載面は毎週木曜日発行の「ぐんま経済新聞」でご確認頂けますようお願いいたします。

敬具

【クラブ紹介記事 要項】

1. 木曜日発行の「ぐんま経済新聞」にて、国際ロータリー第2840地区の45クラブのクラブ紹介を毎週1クラブずつ行う。
2. 記載項目
 - クラブ紹介(クラブの特徴やトピックス)
 - クラブ会長挨拶
 - クラブ概要(会長・幹事名、事務局所在地、例会情報など)上記項目を600字程度で記述のこと
3. 会長顔写真を掲載
4. フォーマットは下記の通り

	国際ロータリー第2840地区〈群馬〉
	○○○ロータリークラブ
■ 会長あいさつ	■ クラブ紹介
.....	○○会長

記事掲載企画

記事内容：クラブの紹介

原稿(会長の写真を添えて)の提出先：ぐんま経済新聞社 小曾根 要人 様

seisaku@gunkei.com まで

	RC	新聞掲載日 (木曜日)	原稿締切り日 (厳守)
第5分区	渋川	5/30	4/18
	沼田	5/23	
	草津	6/6	
	中之条	6/13	
	沼田中央	6/20	
	渋川みどり	6/27	

年間行事予定表

開催日		項目	場所	
2019年	『青少年奉仕月間』			
	5月	10～11日	IA海外研修受け入れ	中央情報経理専門学校
		12日（日）	地区研修・協議会	境総合文化センター 伊勢崎プリオパレス
		18日（土）	女性フォーラム	前橋商工会議所
	『ロータリー親睦活動月間』			
	6月	1～5日	国際大会	ドイツ・ハンブルク
		8日（土）	米山記念奨学生指定校選定会議	ホテルメトロポリタン高崎
		8日（土）	米山学友会総会	ホテルメトロポリタン高崎
		15日（土）	第5回ガバナー諮問委員会	館林市文化会館
		15日（土）	現・新地区役員合同連絡会議	館林市文化会館
16日（日）		青少年交換受入学生歓迎会・ 夏期交換学生歓迎会	前橋問屋センター会館	
22日（土）		（森田年度）第3回ガバナー補佐会議	伊勢崎プリオパレス	
22日（土）		（森田年度）会員増強セミナー	伊勢崎プリオパレス	

新会員紹介



氏名 平出 武史
クラブ 前橋
入会日 2019年05月14日
職業分類 紙卸売
勤務先 平出紙業(株)
役職 代表取締役
推薦者 都丸 和俊



氏名 坂口 博樹
クラブ 前橋東
入会日 2019年04月18日
職業分類 信用組合
勤務先 あかぎ信用組合
役職 専務理事
推薦者 佐藤 信一



氏名 山岸 睦
クラブ 前橋東
入会日 2019年04月18日
職業分類 水道設備
勤務先 (有)山岸設備工業
役職 代表取締役
推薦者 戸塚 和昭



氏名 中川 徹
クラブ 高崎
入会日 2019年03月12日
職業分類 百貨店
勤務先 (株)高崎高島屋
役職 代表取締役社長
推薦者 田中 久夫
広瀬 雅美



氏名 山口 俊彦
クラブ 高崎シンフォニー
入会日 2019年04月05日
職業分類 造園工事
勤務先 (株)高崎松風園
役職 会長
推薦者 小野垣 義男



氏名 稲本 琢
クラブ 太田南
入会日 2019年05月07日
職業分類 生命保険
勤務先 住友生命保険
相互会社
役職 営業部長
推薦者 栗原 稔



氏名 増田 秀紀
クラブ 大泉
入会日 2019年03月01日
職業分類 葬祭業
勤務先 有限会社
増田造花店
役職 取締役社長
推薦者 飯田 知義
藤浪 信弘



氏名 林 喜一郎
クラブ 中之条
入会日 2019年04月02日
職業分類 地方銀行
勤務先 東和銀行
中之条支店
役職 支店長
推薦者 高瀬 昭二



氏名 浅川 高広
クラブ 富岡
入会日 2019年05月08日
職業分類 総合保険代理業
勤務先 ライフエール(株)
役職 代表取締役
推薦者 松井 徹郎



氏名 安藤 肇
クラブ 富岡
入会日 2019年05月08日
職業分類 第二地方銀行
勤務先 東和銀行
富岡支店
役職 支店長
推薦者 村上 明男

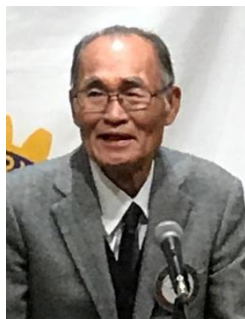
新会員紹介



氏名 田島 圭次郎
クラブ 富岡
入会日 2019年05月08日
職業分類 シティホテル
勤務先 (有)ホテルアミューズ
富岡
役職 代表取締役
推薦者 岩瀬 克巳

訃報

謹んでお悔やみ申し上げます



氏名 赤地 勝美
クラブ 渋川みどりロータリークラブ
入会日 1993年12月9日
(チャーターメンバー)
退会日 2019年3月12日
享年 77歳
勤務先 グローバルピッグファーム(株)
役職 代表取締役

第2回米山功労者マルチプル
マルチプル・ポール・ハリスフェロー1

赤地 勝義会員は、チャーターメンバーとして、当クラブ発足時よりクラブの運営、発展に中心となって活動されてきました。特に、アメリカでの研修中にアメリカのロータリー活動に参加され、ロータリー活動に対する信念をお持ちでした。

1997～98年幹事、2003～04年会長を務められ、クラブ創立10周年の開催に際しては抜群のリーダーシップを発揮されました。

会長歴任後は、一步下がった所から我々の活動を見守りつつ、困った時には的確なアドバイスをしてくれる存在でした。

晩年は、持病と戦いつつ本業の養豚業振興に大いに寄与されました。

これまでの功績に感謝し、心からご冥福をお祈りいたします。

渋川みどりロータリークラブ会長 小林 政貴



出席報告

クラブ数	会員数					
	年度初	月初	月末	純増減会員数	女性会員	当月出席率
45	2112	2135	2138	3	163	80.47

クラブ名	例会数	出席率 (%)	会員数					
			年度初	月初	月末	増減	女性	
第1分区分区	前橋	4	76.11	124	118	118	0	11
	前橋西	4	70.14	58	60	62	2	5
	前橋東	5	74.39	51	49	51	2	5
	前橋北	4	86.79	71	76	79	3	2
	前橋南	4	83.52	44	44	43	-1	2
	前橋中央	4	89.83	26	26	26	0	8
	合計		80.13	374	373	379	6	33
第2分区分区A	桐生	4	64.51	61	69	69	0	11
	桐生南	3	67.66	35	35	35	0	4
	桐生西	4	89.63	63	61	61	0	9
	桐生赤城	4	82.53	42	42	44	2	9
	合計		76.08	201	207	209	2	33
第2分区分区B	伊勢崎	4	90.54	84	85	84	-1	3
	群馬境	4	87.50	25	26	26	0	2
	伊勢崎中央	4	79.02	85	86	87	1	6
	伊勢崎南	4	84.85	30	33	33	0	1
	伊勢崎東	4	79.99	32	33	34	1	1
	合計		84.38	256	263	264	1	13
第3分区分区	高崎	3	89.01	130	136	132	-4	14
	高崎南	4	70.72	73	74	74	0	9
	高崎北	3	65.33	72	72	72	0	0
	高崎東	4	77.34	42	42	43	1	3
	高崎シンフォニー	3	77.54	43	46	47	1	5
	高崎セントラル	4	100.00	36	38	38	0	0
合計		79.92	396	408	406	-2	31	

クラブ名	例会数	出席率 (%)	会員数					
			年度初	月初	月末	増減	女性	
第4分区分区A	太田	4	86.82	73	74	74	0	2
	太田西	4	85.75	19	18	18	0	2
	太田南	3	82.57	47	48	47	-1	3
	新田	2	87.50	31	24	24	0	2
	太田中央	4	84.43	55	53	53	0	3
	合計		85.41	225	217	216	-1	12
第4分区分区B	館林	4	82.87	53	54	54	0	2
	大泉	4	81.54	34	36	36	0	3
	館林西	4	79.60	21	20	19	-1	1
	館林東	5	88.23	21	19	19	0	3
	館林ミレニアム	4	91.48	27	27	26	-1	1
合計		84.74	156	156	154	-2	10	
第5分区分区	渋川	4	95.96	64	60	61	1	6
	沼田	4	74.79	69	72	72	0	4
	草津	3	54.16	15	16	15	-1	2
	中之条	4	75.75	21	20	20	0	1
	沼田中央	3	65.76	45	47	49	2	3
	渋川みどり	4	68.16	36	36	35	-1	2
合計		72.43	250	251	252	1	18	
第6分区分区	富岡	4	97.42	44	46	45	-1	4
	藤岡	4	82.20	52	53	52	-1	2
	安中	4	63.43	53	54	54	0	3
	藤岡北	4	81.10	15	15	15	0	1
	富岡中央	4	91.80	35	36	36	0	1
	碓氷安中	4	70.00	11	10	10	0	0
	藤岡南	3	83.34	13	15	15	0	1
合計		81.17	254	260	258	-2	13	

2019年4月末現在

コラム

コラム〈みんなの広場〉—皆様の投稿をお待ちします—

これから1年間ガバナー月信でお付き合いをお願いしますが、少しは為になる気持ちのほぐれる話を一話ずつこのコラムに書きたいと思います。このコラムにロータリアンの皆さんが投稿してくださり、意見交換の場になればと思います。

私は、英米文学と英語学の教員としてスタートしましたが、後年になると、隣接の学問分野に関心が湧き、異文化理解—日本人と外国人、言語と国民性の相違などを研究しました。僧侶でもありますので、仏教のみならずほかの宗教へも関心があります。

このコラムでは、私の随想〈徒然に思い浮かぶこと〉とはいえ、ロータリー活動に関係のあることを異文化理解・仏教の教えの観点から書かせていただきます。

【第12話】世界の宗教と人生観(2)

私は、当「月信」にコラムの紙面をいただき、「国際社会における日本人を考える」を統一テーマにして東西の国民性と文化について考察して参りました。もう10回もあれば思うところを述べる事がほぼできるのですが、残すは今回6月号のみです。前回5月号では、ユダヤ教・キリスト教・イスラム教の教義と特徴、その信仰形態について述べました。今回は、上記3宗教についてもう少し述べ、次に仏教について述べ、終わりとしてしたいと思います。拙文を読んでもくださった各位に心から感謝申し上げます。

9. ユダヤ教・キリスト教・イスラム教・仏教における神と人間との関係

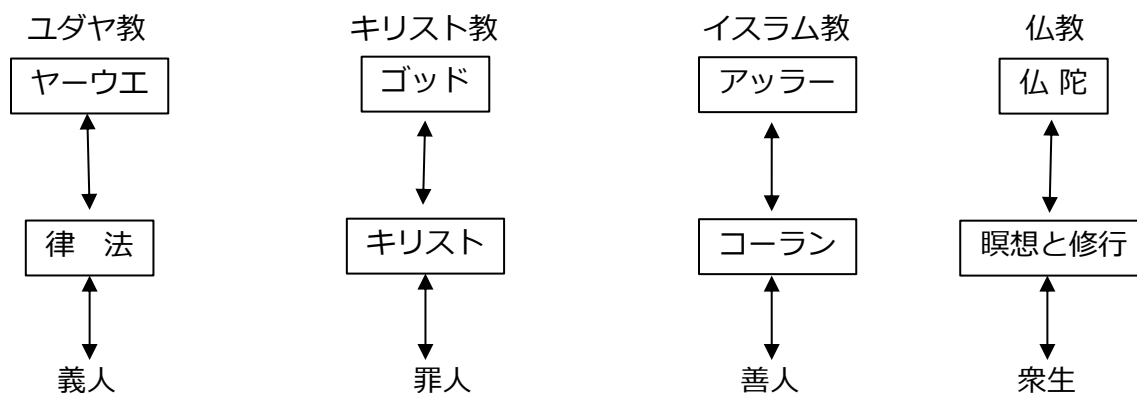
仏教では神という絶対的な存在を持ちません。仏は信仰対象としては神のように考えられていますが、実際は違います。人間を含めすべての存在物(生命体も無生物も)一切が地(個体)・水(液体)・風(気体)・火(エネルギー)の四つの要素(Four elements)で構成されているもの(色くしき)で、永遠にその姿・形を留めない。万物は耐久年数や寿命が尽きれば、構成元素に戻ってしまう(空くう)。そしてまた再合成され、何かになって現れてくる。縁起の法則によって万物流転してやまない。人間もしかりです。般若心経で、「色即是空」(形がるものは形がないのと同じ)・「空即是色」(形がなくとも形があるのと同じ)とあるのはこのことです。

前述のユダヤ教・キリスト教・イスラム教では死後の永遠の世界がありますが、仏教の本来の教えからするとそれは無いのです。死ねば肉体も精神(我)も滅するのです。人生は苦である、というのが仏教の根本原理です。だからと言って絶望して死ぬわけにはいきません。せつかくの命ですから、これをどう生きるかがすべての人に課せられた人生の課題です。くよくよ生きるか、明るく楽しく生きるか、われわれの選択です。その時、苦の娑婆(人間社会)をこう生きるとよいと生き方を教えてくれるのが仏(仏陀, Buddha)になる(成仏する)教え、即ち、仏教(Buddhism)です。悩まず苦しまず理想的生き方が生きているうちにできる人が「生き仏」(即身成仏)です。普通は、欲や苦悩から脱することは死ぬまでできません。

死ねば欲も悩みも消えてしまいますので、死んだ人を「仏」というわけです。

仏(ほとけ)とは、サンスクリット語で「目覚めた者」の意味のBuddhaを音写して中国語で「仏陀<ブツダ>」と言いました。日本語では「仏」(ブツ)を訓読みで「ほとけ」と言います。紐の結びを解くことを「ほどく、解く」(他動詞)と言い、自動詞は「ほどける」です。古語では「ほとく」「ほとける」でした。ぐちゃぐちゃに絡まってしまった糸をほどいて一本の糸にするように、無知と煩惱・貪欲から起因する苦の人生から解脱できた人を「ほとけた人」即ち「ほとけ」と言うわけです。解脱の方法は経(お釈迦様の教え)・律(行動規律)・論(経の解釈説明)からなる仏教の教えに基づき自らの実践行(修行や日常生活体験)を通じて自ら成すことです。従って、仏教の仏陀とは、人生の理想的な境地(涅槃<ネハン>)、その境地に達した人を指します。それを形にした(偶像化)ものが仏像です。

ユダヤ教とキリスト教とイスラム教における神と人間との関係、仏教の仏と衆生との関係を図式化してみますと、概略以下のようなになるかと思えます。

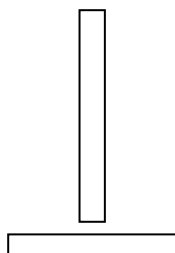


1. キリスト教が祈り(Prayer)の宗教に対して、仏教は瞑想((meditation)の宗教である。(ドイツの仏教学者ヘルマン・ベック)神との和解のキリスト教に対して自己完成(解脱)の仏教です。
2. キリスト教・ユダヤ教・イスラムのような一神教の諸宗教は至高の創造主を信仰する啓示宗教である。仏教は釈尊の覚りにもとづく自覚宗教で、神という創造主の存在を説かない。つまり一神教の場合は、創造主と自己との関係において「祈り」と「救い」という宗教的行為が見られるが、創造主を説かない仏教では、絶対的な覚者(仏陀)と自己との関係性において瞑想(仏教では観想、観念と称する)という宗教行為が見られる。
3. 仏教は、時代の変遷の中で難解な知的理解(知解<ちげ>)をするようになったが、究極的には内面的な世界の探求に徹して精神の深層の錬磨を目指すところまで行く実践的体得によるべきである。ヨーロッパの哲学と違って、信解(しんげ)、つまり信仰的な、時として不条理な瞑想体験による宗教的直観がなければならない。大乘仏教の唯識哲学、中観哲学という哲学的思弁の後、密教という瞑想的実践を重んじる体系が生まれたのは、瞑想への回帰といえる。弘法大師空海(774-835)が導入した真言密教(三摩地法門)は瞑想(yoga)の教えである。(参考：『大法輪』72巻、平成17年5月号)以上のように対照できます。

10. キリスト教の「十字架」とイスラム教の三日月

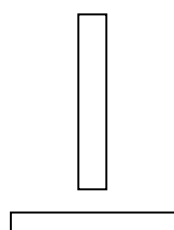
ユダヤ地方を治めていたローマ総督ピトラはイエスを十字架に架けて処刑した。神の子イエス・キリストは、全人類の贖罪のために十字架に架かったと解釈されています。次図のように十字架には2類あります。

ラテン十字架



ローマ・カトリック教会

ギリシャ十字架



ギリシャ東方教会

イスラム教徒を討伐するための11-13世紀の十字軍(8回)は衣服に赤い十字マークを付けていた。これをイスラム教徒は嫌う。イスラム教諸国の赤十字の記章は、赤新月マークです。イスラム教の多くの国の国旗には赤新月がマークついていることを思い起します。

11. キリスト教の一夫一婦とイスラム教の一夫多婦

「もしおまえたち孤児を公正に扱いかねることを心配するなら、気に入った女を2人でも3人なり、あるいは4人なり娶れ。もし妻を公平に扱いかねることを心配するなら、1人だけを、あるいは自分の右手が所有する者(女奴隷)を娶っておけ」(コーラン4-3)生活力があり、平等に扱えるなら既婚の妻の同意を得て4人まではよいそうです。マホメットはメッカ軍と二度目の戦いをし、敗北したとき、大量の孤児と未亡人がでた。これら生活の窮するものを救済するためといわれる。マホメットは14人の妻を持っていたそうです。

12. 女性のヴェールと女性観

○「女子の信者にはこう言えく目を伏して隠し所を守り、露出している部分のほかは、わが身の飾りとなるところを露わにはしてはいけぬ。顔覆いを胸元まで垂らせ。自分の夫、親、夫の親、自分の子、夫の子、自分の兄弟、兄弟の子、姉妹の子、身内の女、あるいは右手の所有する者(奴隷)あるいは欲望を持たない男の従者(去勢者)あるいは女の隠し所について知識のない幼児、以上の者を除いては、わが身の飾りとなるところをあらわしてはならない。」と、コーラン(24-31)にあります。

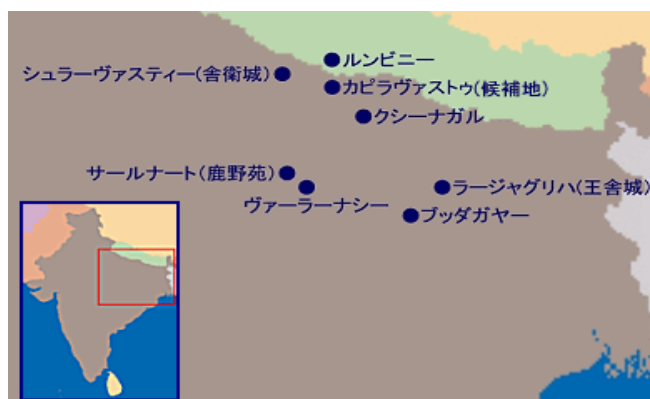
○イスラム教では、女性の権利は男性の半分だが、母として尊敬される。30年も前にロンドンで知りあったパキスタンの友人の話ですが、子供は母親に送金し、母親はそれを金に替えてため、子供が世帯を持つときくれるそうです。特に移動民族が金銀を身に着けるのは財産の保管方法なのです。

○キリスト教では、男女平等。プロテスタントでは男女平等、独立した女性としてみる。カトリックでは、男も女も半人前、結婚によって完全な人間になる。母親としての役割分担を重んじられます。

13. 仏教(Buddhism)

1) 釈迦の生涯

釈迦は、今から2500年ほど前にヒマラヤ山脈の麓、現在のネパール王国の領土内に位置する釈迦国(シャークヤ)の王子として4月8日に誕生したと伝えられています。誕生年には諸説があり、200年ほどの開きがありますが、中村元説では紀元前463年～383年の80年と算定されています。



釈迦の父は釈迦族の国王シュッドーダナ(パーリ語でスッドーダナ、浄飯王くじょうばんおう)、
「浄らかなご飯(白飯)をもつもの」の意味)、母は隣国ユーリアの執政アヌシャーキヤ
の娘マーヤー(摩耶夫人くまやぶにん)です。母のマーヤーは、出産のための里帰り途中、
カピラヴァストウ郊外のルンビニーという花園で休息をとった。しだれ咲く花に触れようと
右手を伸ばした時、脇の下から赤子が生れ落ち、7歩あゆみ、右手を上、左手を下に向けて、
『天上天下唯我独尊』と言ったと物語られています。

○『天上天下唯我独尊』

この言葉はいろいろに解釈されています。「世の中で私が最も尊い」という意味ですが、
私はただの人間ではなく、仏の生まれ変わりです、という解釈ができます。また、この世の
中で、すべての人は自分が大切なのだ、とも解せます。すべての人は自分がかわいいのだから、
他人の生命生活を尊重しなければならない。殺生はまずもってしてはならないということ
です。不殺生は命の大切さを説く仏教の根本的重要項目です。この世に命を得たことは稀
有なことで、万物にとってまことに「有難い」こと、従って、感謝すべきことなのです。次
の「盲亀浮木の譬」(もうきふぼくのたとえ)はそれを物語ります。

○盲亀浮木の譬

ある時、お釈迦さまが、阿難(あなん)という弟子に、「そなたは、人間に生まれたことを
どのように思っているか」と尋ねられた。「はい。大変喜んでおります」と阿難は答えた。
お釈迦さまが、「では、どれくらい喜んでるか」と重ねて尋ねると、阿難は答えに窮した。
するとお釈迦さまは、一つの例え話をされた。

「果てしなく広がる海の底に、目の見えない亀が住んでいる。その亀は、100年に1度、海
面に顔を出すのだ。広～い海には1本の丸太が浮いている。その流木の真ん中に小さな穴があ
いている。丸太は、風にまかせ波のまにまに、西へ東へ、南へ北へと漂っている。阿難よ。
100年に1度浮かび上がる目の見えない亀が、浮かび上がった拍子に、丸太の穴に、ひよいつ
と頭を入れることが有ると思うか。」

阿難は驚いて、「お釈迦さま、そんなことは、とても考えられません」と答えた。「絶対
にない、と言い切れるか。」お釈迦さまが念を押されると、「何億年×何億年、何兆年×何兆
年の間には、ひよつと頭を入れることがあるかもしれませんが、ない、と言っても良いくら
い難しいことです」と阿難が答えると、「ところが、阿難よ。私たちが人間に生まれること
は、その亀が丸太の穴に首を入れることが有るよりも難しいことなんだ。有難いことなんだ
よ」と教えられました。これから感謝の言葉「ありがとう」が出たと言われています。これ
が「盲亀浮木の譬」(もうきふぼくのたとえ)です。

母マーヤーは出産した7日後に亡くなり、この子はシッダールタと名付けられた。釈迦国の
都カピラヴァストウのお城で、シッダールタは母マーヤーの妹マハーブラジャーパティに
よって育てられた。ちなみに釈迦という呼び名は、釈迦族(シャーキヤ)という部族名です。
釈迦牟尼(「釈迦族の聖者」の意味)とも、釈尊(「釈迦族の尊者」の意味)とも呼ばれますが、
その本名はサンスクリット語でガウタマ・シッダールタ(パーリ語:ゴータマ・シッダッタ)
といいます。ガウタマとは「最上の牛」、シッダールタとは「目的(アルタ)を達成した人
(シッダ)」という意味です。ゴータマ・ブッダは、シッダールタ太子(シッダ太子)が修行の
後悟りを開き成仏してからの尊称です。上述のように、ブッダ(Buddha, 仏陀。仏)は悟りを
開いた人の意味です。

○四門出遊の故事： シッダールタは父シュッドーダナらの期待を一身に集め、二つの専用
宮殿や贅沢な衣服・世話係・教師などを与えられ、教養と体力を身につけた、多感でしかも
聡明な立派な青年に育った。16歳で母方の従妹ヤショーダラーと結婚し、19歳で一子ラーフ
ラをもうけた。シッダ太子は居城カピラヴァストウから馬車で遠出をすることがあった。城
の東門から出た時老人に会い、南門より出た時病人に会い、西門を出た時悲しい葬列に出
会った。この身には老も病も死もあると生(生老病死)の苦しみを感じた。北門から出た時に
一人の出家沙門に出会い、世俗の苦や汚れを離れた沙門の清らかな姿を見て、出家の意志を

持つようになった、という。自分は父の後を継いで王として政治の力で臣民を救うべきか、それとも、苦難を乗り越えて生きる強い力をあたえることによって人生の苦から民を救うことはできないか考えるようになった。熟慮の末覚悟を決めたのだそうです。

29歳の時、冬の夜半に王宮を抜け出して出家を果たした。そして、山にこもり、当時あった優れた教えの三師について学んだ。しかし、納得の境地に達することができなかったのも、山を下りることとしたのです。

バッカバ仙人を訪れ、その苦行を観察するもバッカバは死後に天上(天使の住む世界)に生まれ変わることを最終的な目標としていたので、天上界の幸いも尽きればまた六道に輪廻すると悟った。シッダールタは、次に教えを受けたアーラーラ・カーラーマの境地(無所有処定)およびウツダカラマ・プッタの境地(非想非非想処定)と同じ境地に達したが、これらを究極の境地として満足することはできず、また、これらの教えでは人の煩惱を救い、真の悟りを得ることはできないと覚った。この三人の師はシッダールタの優れた資質を知って後継者としていたと願ったが、シッダールタはこれらのすべては悟りを得る道ではないとして辞し、彼らのもとを去ったのだそうです。

〇仏教とバラモン教・ヒンズー教との違い

シッダールタは、バラモン教の師について6年間山中にこもり研鑽を積んだが、死後に天上(天使の住む世界)に生まれ変わることを最終的な目標とするバッカバ仙人の教えでは、天上界の幸いも尽きればまた六道に輪廻することになる。これらを究極の境地として満足することはできず、また、これらの教えでは人の煩惱を救い、真の悟りを得ることはできないと覚った。これらのすべては悟りを得る道ではないとして辞し、彼らのもとを去ったのです。後にお釈迦様が悟った仏になる教えとバラモン教とはどこが違うのでしょうか。

バラモン教は当時流布していた最先端の教えでした。バラモン教では、「五趣」「五道」(地獄・餓鬼・畜生・人間・天界)という世界があり、生前の所業によってそのいずれかに生まれ変わるという輪廻思想が基本思想です。大乘仏教では、この世の善行によってよりよい世界に行けるといふ救いの思想「六道輪廻(ろくどうりんね)」がありますが、これはバラモン教の五道の畜生と人間の間「阿修羅くあしゅら」を加えて六道にしたものです。

バラモン教の特色は、根幹に輪廻思想があることと、カースト制度が確立していたことでした。古代の人たちは、素朴な発想から、人間は肉体と霊魂でできているという二元論を信じていました。物質である肉体は必ず滅びるが、物質ではない霊魂は永遠不滅で、次の生を求めてさまようものと考えたのです。肉体は大地に還り、霊魂は天界に昇るとしたのと同時に、その人の生前の行いによって霊位が上下し、次に宿るべき肉体が決まると信じた、これが輪廻という考え方の基本です。

バラモン教の下では、この死後に関わる「五趣」の思想を、現世の社会階級にまであてはめていきました。天上の神々の下にバラモン(司祭階級)、クシャトリア(王族、武士階級)、バイシャ(庶民階級)、スードラ(奴隷階級)という4つのカーストが制度化されたのです。そして、そのカーストに生まれてしまうと、死ぬまでその境涯から逃れることができないという苛酷なものでした。バラモン教を熱心に信仰し、徳(とく)を積むことで、次の人生では上位の境涯に生まれ変われるという希望はありましたが、最下位のスードラにはそれさえなく、スードラは永遠にスードラのままでした。こうしたバラモン社会に疑問を抱き、社会の底辺の人たちを救済するために新しい宗教哲学を創始したのが、お釈迦さまだったのです。

仏教では、バラモン教にはない、輪廻界の上に輪廻から解脱した如来や菩薩の住む「仏界」があります。そして、その下にある「六道輪廻界」は、善趣と悪趣の2種に分かれています。善趣とは、「天」、「人」、「修羅道」、悪趣は「畜生」、「餓鬼」、「地獄」です。つまり、バラモン教では、輪廻界のなかで生まれ変われるだけだったものが、大乘仏教の輪廻思想では、六道輪廻を解脱すれば、仏界という光にあふれた悟りの世界に入ることができるのです。

ちなみに、現在インドの主要な宗教はヒンズー教ですが、これはバラモン教の一派であるので、バラモン教の教えとほぼ同様であります。(参考：ネット『NHK趣味Do楽 藪内佐斗司流 ほとけの履歴書 仏像のなぞを解きほぐす』より)

○菩提樹のもとでの正覚から「初転法輪」へ

バラモン教の3人の師について学んだ6年間の難行苦行を止めた35歳の時、内臓が透けて見えるほどやせ細ったシッダールタは、ナイランジャンナー川で沐浴したあと、対岸のガヤー地区(釈迦が悟りを開いた村なので今はブツダガヤと呼ばれている)に入り、酪農を生業とする村長の娘のスジャータから牛乳で炊いた粥の施し(乳粥供養)を受けた。過度の快樂が不適切であるのと同様に、極端な苦行も不適切であると悟ってシッダールタは苦行をやめた。体力を回復して近くの林のピッパラ樹の下に坐して瞑想に入り、悟りに達して仏陀となった(成道)のです。この木のもとでシッダールタが悟りを開いたので、後には「菩提樹」(ボーディ=菩提は悟りの意味)と呼ばれている。ちなみに、スジャータという商品名のコーヒーに入れるミルクがありますが、この子の名前を採ったものです。これを入れてコーヒーを飲めば、釈迦さまのように覚醒するという意味合いでしょう。

お釈迦様は、菩提樹の下に7日間座わっていた。縁起と十二因縁を悟った。8日目に尼抱盧陀樹(ニグロードじゅ)の下に行き7日間、さらに羅闍耶多那樹(ラージャヤタナじゅ)の下で7日間、座って解脱の楽しみを味わった。22日目になり再び尼抱盧陀樹の下に戻り、悟りの内容を世間の人々に語り伝えるべきかどうかをその後28日間にわたって考えた。

その結果、この真理は世間の常識に逆行するものであり、法を説いても世間の人々は悟りの境地を知ることはできないだろうから、語ったところで徒勞に終わるだけだろうとの結論に至った。ところが梵天が現れ、人々に説くよう繰り返し強く請われた(梵天勸請)。3度の勸請の末、釈迦はまず、修行時代のかつての師匠のアーラーラ・カーラーマとウツダカ・ラーマプッタに教えを説こうとしたが、二人はすでに死去していたことを知ると、鹿野苑へ行って、ともに苦行をしていた五人の修行僧に説くことにした。彼らは、父のシュドーダナがシッダールタの警護のために出家させた沙門たちです。彼らは、シッダールタ太子はスジャータの乳粥供養を受けるなどして墮落し難行苦行をやめてしまったとそれまで軽蔑していた。彼らに対して中道、四諦と八正道を説いた。5人は説法を聞くうちに悟りを得て比丘となった。初めて仏教の教えを説いたので「初転法輪」といいます。

この時から80歳で入滅(死亡)するまでいろいろなところで説法し、多くの人を救い、教化したのです。ちなみに、仏教では、葬式の後7日を7回重ねる49日忌という供養がありますが、これはお釈迦様が悟りを開いて、その教えを説くまでの期間になぞらえています。死者が十三仏のうちの7仏の教えを得て悟りを開き仏の世界に生まれかわるまでの49日間の修行ということとです。

次に、お釈迦さまが説かれた仏になるための方法論について述べたいと思います。

2) 仏教の教え—悟りを開く方法

○縁起の法則：すべての現象・事物は原因があって、条件が備わると起こる。偶然や祟りなどで起こるのではない。「縁起が悪い」という言葉がありますが、悪い原因で悪い条件が重なれば悪い結果が起こるということなので、「不気味なもの」とを言っているではありません。かりに、頭痛がするとします。なぜかと考えると、タベ飲みすぎた。なぜ飲みすぎたのかと問えば、会社で嫌なことがあったからだ。なぜか、なぜかと、原因をさかのぼれば、最終的には、飲みすぎれば頭痛がすることがわからなかったからです。原因をさかのぼって行きつくところは「無明」です。暗闇では何も見えません。先を見通す力(知恵)があれば、問題はすでに解決し、頭痛は起こらなかつたはずで、こうすれば最終的にはこうなると見通せる明るい状態を「光明」といい、その知識や知恵をもって人を仏様というわけです。無明・割愛は衆生の常であり、光明は仏の境地です。原因から最終的な結果まで段階的に分析したものを「十二因縁説」といいます。

○十二因縁説：無明(無知)→行(身・語・意の三行)→識(認識・判断作用)→名色(心理作用)→六処(六つの感覚)→触→受→愛(渴愛)→取(執着)→有(生存)→生(未来に生まれること)→老死(人生の無常・苦の姿)

無明渴愛を滅すれば、苦の人生から無苦安穩の人生(涅槃<ネハン>の境地)へ人生を変えられる、というわけです。そのためには、次の4つの大事を認めることです。

○四法印(The Four Seals) : 諸行無常・諸法無我・涅槃寂靜・一切皆苦

「印」は中国でも日本でも重要書類には印を押しますが、西洋でも大切な書類や封書には蝨を垂らして印を押しました。それをシールと言います。子供がべたべた貼るシールのことです。従って、4つの重要な仏教の教え(法)のことです。僧侶の尊号で「法印○○」「法印様」などと使うことがあります。四法印は仏教哲学の根本です。

1) 諸行無常(しょぎょうむじょう) All compounded things are impermanent.

あらゆる形あるものは永遠にその形を留めない。永続する実態はない。

2) 一切皆苦(いっさいかいく) All emotions are pain.

一切の感情は「苦」である。小さいことで満足すれば喜びですが、貪欲に多くを求めれば苦惱です。今日の喜びが明日は苦惱に変わるかもしれません。

3) 諸法無我(しょほうむが) All things have no inherent existence.

すべての現象は「空」(Empty)で、永続するものはない。永続する「自我」(Eternal "Self")はない。「自我」を「魂」と同一することもできるが、死ねば「自分」というものは存在しない。死後の世界を信ずるユダヤ教・キリスト教・イスラム教では魂は不滅でありますので、来世の幸せのために苦惱を乗り越えて現世を生きろと教えます。足が悪ければ、それは神の与え下さった試練である。その重荷をへこたれず背負いきれるか神様が試しているのだと思い頑張った人がその勇気と努力を認められ、神の世界に迎えられる。仏教では、現世を如何に生きるかがテーゼで、これは自分自身の問題なのです。

4) 涅槃寂靜(ねはんじやくじょう) Nirvana is beyond concepts.

悟りに至れば安樂が得られる。欲や苦惱を克服して生きながらにして悟りが開ければ即身成仏であります。普通の人には死んで欲望と苦惱から解放され、無の境地になれます。この境地を涅槃の境地、すなわち、ロウソクの火が消えた状態です。

○五輪塔婆(Stupa) –Four Elements

全てのものは四大元素でできている。(Four Elements: Wind, Water, Soil and Fire.)これは現代の科学にも通じる真実です。般若心経では、色即是空/空即是色と言っています。形あるもの(色)はいずれ分解すれば形がないもの(空、元素)になる。形のないものも化合すれば形を成す。すなわち、形のあるものは形がないものと同じ。形のないものは形があるものと同じである、ということです。水H2Oは水素と酸素の化合物で、分解すれば元素に帰ってしまう。しかし、この宇宙には存在する。人間もしく、いろいろな元素にエネルギーが作用して、時と条件を得て化合物として生じる。死ねば元素に帰り、消えてしまう。しかし、宇宙には存在する。五輪塔婆は細長い板に刻みを入れて【空・風・火・水・地】を表したものです。五輪塔も石塔も位牌も同じです。万物構成の原理と併せて仏様(人間)の姿を模したものです。



Kuh(空)
気体
kya



Fuh(風wind)
エネルギー
ka



Ka(火fire)
エネルギー
ra



Su(水water)
液体
ba



Chi(地soil)
個体
a «サンスクリット»

○四 (聖) 諦

苦を滅する四段階の方法論が「四諦」(したい)です。「諦」は「あきらめる」の意味ですので、全てを諦めて平穩に生きろと言っているようですが、そうではないのです。もともと日本語の「あきらめる」は「明らかにする(=一説によると「明らむ+める(めり)」)から来ているそうです。転じて「諦める」は気づく、悟るという意味になります。

苦諦：人生は苦しみに満ちていること明らかにする(悟る)
集諦：苦の原因は煩悩・執着によって起こることを明らかにする
滅諦：苦の原因を滅すれば苦も消滅し涅槃(穏やかな境地)に至ることを明らかにする
道諦：苦を滅して涅槃に至るための実践道(修行の方法、生き方)を明らかにする⇒そのための方法は八正道(非苦非樂の中道)と六波羅密である。

○四苦八苦

人間の苦悩の根本原因は四苦八苦は、〈生・老・病・死〉の肉体的四苦と、〈愛別離苦・怨憎会苦・求不得苦・五陰盛苦〉の精神的四苦である。これは誰も逃れられない人生の苦であります。インドの数え方で、前述の空数字を後述に足して言いますので、四苦八苦となるわけです。本当は四苦・四苦です。日常よく使われる表現です。

四苦：生・老・病・死 これらは生あるものは誰も逃れられない肉体的苦であります。

八苦：愛別離苦(あいべつりっく)愛するものといずれ別れなければならない苦
怨憎会苦(おんぞうえく)世間は嫌いな人とも仲良くやっていかなければならない苦。
求不得苦(ぐうふとっく)求めるものが思うように手に入らない苦
五陰盛苦(ごおんじょうく)心身への執着する色・受・想・行・識の苦

- 1) 色とは、肉体や物質的な苦しみ。たとえば老化による容姿の衰えや、容姿に関するコンプレックスなど。
- 2) 受とは、感覚や印象に関する苦しみ。たとえば繊細な感受性のために苦しむことなど。
- 3) 想とは、知覚、想像で苦しむこと。たとえば妄想、取り越し苦労、心配など。
- 4) 行とは、意思や記憶で苦しむこと。たとえば意志が弱く中毒行為がやめられないことなど。
- 5) 識とは、認識や意識で苦しむこと。たとえば罪の意識、低い自己評価、プライドの高さに苦しむことなど。

○八正道

人生が苦悩の連続であるのは、煩悩(渴愛、欲望)執着が原因です。これから脱して安らぎの境地(涅槃<ネハン>)の境地に至る悟りの道が八正道です。何事にも左右されない「非苦非樂の中道」を歩む方法です。

- ①正見(正しい観方) ②正思(正しい思考) ③正語(正しい言葉使い) ④正業(正しい行為)
- ⑤正命(身・口・意を清くして正しい生活をする) ⑥正精進(悟りに至る努力を続けること)
- ⑦正念(邪念を離れ正しい道を憶念すること) ⑧正定(精神を集中、安定して迷いのない境地に入ること)

○六波羅密

「波羅密」は〈彼岸に至る〉の意味。悟りを開く(涅槃)ための六つの修行法のことです。大乘仏教では、自分だけが悟りを開くこと(自己完成)に止まらず他も幸せにすること(利他)を重大視します。乗り物になぞらえて、多くの人が乗れる乗り物の意味で大乘仏教というわけです。

- ①布施(施すこと。物施・法施・無畏施) ②持戒(戒めを守ること) ③忍辱(にんにく、我慢すること) ④精進(努力すること) ⑤禅定(静かに考えること) ⑥般若智慧(合理的に考え、知恵を働かすこと)これが悟りを開くための人生の生き方です。

○十善戒(The Ten Commandments for Goodness, Good Karma)

衆生(普通の人)が行う悪い行為を「業」(ごう)といい、仏様(悟りを開いた人)の行う行為を「善」と言いますが、「十善戒」とは、人が仏になるために行うべき10の行為のことです。それらは、身(身体的行為)・口(言語的行為)・意(心的行為)の3つにグループ分けできます。

A) 身体的行為：

- ①不殺生(ふせつしょう) 命を大切にし、動物・虫けらといえどもむやみに殺さない。
- ②不偷盜(ふちゅうとう) 他人の物を盗まない。
- ③不邪淫(ふじゃいん) 男女間を乱さない。

B) 言語的行為

- ④不妄語(ふもうご) 嘘をつかない。
- ⑤不綺語(ふきご) 人がうらやましくなるようなことを言ったり。ほらを吹いたりしない。
- ⑥不悪口(ふあくく) 人の悪口を言わない。
- ⑦不両舌(ふりょうぜつ) 自分だけがいい子なり、人を不仲にするようなことは言わない。

C) 心的行為

- ⑧不慳貪(ふけんどん) 欲張らない。けちらない。
- ⑨不瞋恚(ふしんに) 腹を立てない。
- ⑩不邪見(ふじゃけん) 偏見を持たない。

2) 日本仏教の様々な修行法

原因から結果に至るまでを詳細に分析し分類するのインド人が得意とする哲学的思考法です。読者の皆様、このくどくどした仏教の教義にうんざりされたことかと思えます。インド人がコンピュータのプログラミングに強く、ITの分野で活躍できるのはこのような哲学思考ができるからです。

日本の仏教界では、仏教の習得方法を二つに分けています。教義を学ぶ「教相」と実践を学ぶ「事相」です。宗派によって修行法が様々ですが、主なところを簡単に述べますと、以下のようになります。

- ・天台宗の修行：摩訶止観：雑念を払って本来の自己を取り戻す瞑想法。回峰行・念仏行(慈覚大師円794-862)が五台山の念仏を修め、比叡山に常行三昧堂を建てこれを広める。
 - ・真言宗の修行：四度加行、阿字観などによって自身を仏と一体化する。
 - ・一般の人に上記の教相・事相を求めることはできません。鎌倉時代になると、仏教を普及させ、誰でも信仰できるための方策が考えられた。従来 of 観念の「念仏」に代わって仏名を唱える「称名念仏」が考えられた。浄土宗の「南無阿弥陀仏」と法号(仏名)を唱えるだけで、『阿弥陀経』の御利益がいただける、と教えたわけです。法然(1133-1212)は専修念仏(称名念仏)を説いて浄土宗を開き、親鸞は信心為本、絶対他力の念仏を説いて浄土真宗を開いた。
 - ・鎌倉末期に日蓮(1222-1282)は唱題念仏をもって日蓮宗を開いた。『妙法蓮華経』を読まなくとも、お経のお題目(経の名前)を「南無妙法蓮華経」と唱えるだけで祈りは通じると教え、人を信仰に導いた。
 - ・鎌倉時代に、栄西(1141-1215)と道元(1200-1253)は入宋して、それぞれ臨済禅と曹洞禅を伝えた。
- 臨済禅：看話禅、公案禅(禅の語録にある古徳の言行を示して参禅工夫させて解答を公案させる)。
曹洞禅：黙照禅、只管打座(しかんたざ)して、「身心脱落」を目指す。

14. 地獄と極楽

1) キリスト教の「天国」・イスラム教の「楽園」・仏教の「極楽浄土」

○キリスト教の天国は、神の支配、神の国、栄光と福音の世界、苦難から開放され、この世の不合理が調整される。死後天国に行けば、キリスト様に会い、愛するものに巡り合える。

○イスラム教の楽園は、「信仰に入り、善行をなしたものは下に川が流れる楽園に入れてやる。そこに永遠にとどまるであろう。そこには清純な妻が何人もいる。涼やかな木陰に入れよう」(コーラン4-57)

○仏教では、本来的には天国への昇天はない。発展の過程で極楽浄土が地獄との対比で物語られるようになった。

2)「地獄」について

仏教とキリスト教・イスラム教の地獄観の大きな違いは、仏教では一定期間(最低1兆6千2百億年)の贖罪(罪をあがなう)の場所であるのに対して、後者では永遠の責め苦を受ける場所である。ここで、イスラム教と仏教の地獄観を比較してみましょう。

○キリスト教の地獄観

キリスト教では、懺悔・告解によって許される。煉獄(れんごく)に堕ちた者は救われる可能性があるが、地獄に堕ちた者は救われない。煉獄は、天国には行けなかったが地獄にも墜ちなかった人の行く中間的なところであり、苦罰によって罪を清められた後、天国に入るとされる。現行のカトリック教会の教義では、天国は「最高の、そして最終的な幸福の状態」、地獄は「神から永遠に離れ、永遠の責め苦を受ける状態」と定義されているが、「天国の本質が神との一致にあるとすれば、それは当然のことだが、人間は必ずしも終始一貫、神に沿って生きているとはいえず、罪を犯すこともあり、そのため死後に神と一致しようとする際には、自分の内にある神と異質なものは清められることになる。これが煉獄である」と説明されている。

カトリック教会では、「痛悔もせず、神の慈愛を受け入れもせず、大罪を犯したまま死ぬことは、わたしたち自身の自由意志による選択によって永遠に神から離れることを意味します。自ら神と至福者たちとの交わりから決定的に離れ去ったこの状態のことを『地獄』と表現する」と『カトリック教会のカテキズム』に明記して、永遠の地獄の存在と、神との決別の状態が永遠に続くことが地獄の苦しみの中心であると教える。(ネット情報)

○イスラム教の地獄観

仏教では人間の生き方で地獄の沙汰は決まるが、イスラム教では異教徒が落ちる世界である。イスラム教では司祭がいないので、アラーの神との契約を破ったのであるから神の裁きを待つ。家族に与える中程度の食べものを10人の貧者に施す、彼らに衣服を与える、奴隷を一人解放することによって贖罪できる。アラーの禁じた犯罪は、①姦通 ②姦通についての中傷 ③飲酒 ④窃盗 ⑤追い剥ぎ、です。

①ゲヘナ地獄(煉獄)： 罪を懺悔しない者が送られる。

②火焰の釜地獄： ユダヤ教と入る地獄

③焰地獄： サービア教徒(ユダヤ的キリスト教徒)の入る地獄

④業火地獄： ソロアスター教徒の入る地獄

⑤火の竈(かまど)地獄： 偶像崇拜者の堕ちる地獄。仏教徒は対象者であることになる。

⑥底なし地獄： 偽善者の入れられる地獄

○仏教の地獄観

地獄はサンスクリット語Narakaで、音写は「奈落」である。演劇の舞台の下の空間である「奈落」を指して言う。仏教における世界観の1つで最下層に位置する世界(十界)の最下層で、一般的に、大いなる罪悪を犯した者が、死後に生まれる世界とされる。十界とは、地獄界・餓鬼界・畜生界・修羅界・人界・天界・声聞界・縁覚界・菩薩界・仏界である。地獄から天使の住む天界までを六道という。

死後、人間は三途の川を渡り、7日ごとに閻魔をはじめとする十王の7回の裁きを受け、最終的に最も罪の重いものは地獄に落とされる。地獄にはその罪の重さによって服役すべき場所が決まっており、焦熱地獄、極寒地獄、賽の河原、阿鼻地獄、叫喚地獄などがあるという。そして服役期間を終えたものは輪廻転生によって、再びこの世界に生まれ変わるとされる。焦熱地獄を例にとってみてみましょう。

- ①等活地獄(殺生をした者が墮ちる傷つけられる地獄。熱や汗や火刃で折檻される。)
- ②黒縄地獄(盗みを犯した者が墮ちる地獄。熱鉄の上で焼けた鉄縄で体を切り裂かれ、鬼に食わせる。)
- ③衆合地獄(邪淫を犯した者が墮ちる地獄。女体(男体)を求めて、刃の鋭い葉の木の登り降りを繰り返す。)
- ④叫喚地獄(飲酒を犯した者が墮ちる地獄。酒は悪の根本なり、と地獄の獄卒に追いかけて回される。)
- ⑤大叫喚地獄(妄語を振りまく者が墮ちる地獄。叫喚地獄にわをかけた責め苦にうめき泣き叫ぶ。)
- ⑥焦熱(炎熱)地獄(邪見の者が墮ちる地獄。真っ赤に燃える銅の海に浮き沈み炎熱に苦しむ。)
- ⑦大焦熱(大極熱)地獄(性的な悪行を犯した者が墮ちる地獄。炎が燃える火瓶に入れられ、無限の苦悩を受ける。)
- ⑧無間(阿鼻)地獄(父母・聖者を殺した者、仏像を傷つけ、宗教を誹謗する者が墮ちる地獄)「奈落の底」という言葉がありますが、一番下の地獄ですから、この阿鼻地獄(阿鼻地獄)を指します。

最後に

一年間「月信」のコラムにお付き合いいただきありがとうございました。この機会がなければ今までに述べてきたことを文章にすることはなかったでしょう。よい機会に恵まれました。ガバナーが終わったら、少し書き物をしてみようかと思えます。ありがとうございました。

森田ガバナーエレクトからのお知らせ

ガバナーエレクト年度へのご協力に対しまして
心から感謝申し上げます



ガバナーエレクト
森田 高史(伊勢崎RC)

2017年の5月にガバナーノミネーデジグネートに指名されて以来、今日まで2年余りに渡り、来たるべきガバナー年度に向けて準備を進めてまいりました。

本年1月のサンディエゴでの6日間に渡る国際協議会に出席し、2月から、RI会長テーマの伝達と、地区ガバナーテーマ・運営方針・地区目標を立案し、下記の通り、いわゆる3大セミナーを終了することができました。

日 程	セミナー名	対 象 者
2/16(土)	地区チーム研修セミナー	地区役員(ガバナー補佐・地区委員長)
3/16(土) ～3/17(日)	会長エレクト・幹事エレクト 研修セミナー(PETS・SETS)	会長エレクト・幹事エレクト
5/12(日)	地区研修・協議会	会長エレクト・委員長他クラブリーダー

特に5月12日に開催されました「地区研修・協議会」には、地区内全45クラブから、近年最大とも思われます486名の参加をいただきました。ご出席頂きましたロータリアンの皆様に心から感謝申し上げます次第であります。

クラブ会長のエレクトの皆様におかれましては、新たな年度を迎える準備が十分整われたのではないかと感じております。

また、会員増強の目標値につきましても、各クラブさんが自ら立案した計画の合計値が現在の地区会員数の10%を上廻っており、大変頼もしくも感じております。

残すところあと1ヶ月で、いよいよ2019-2020年度を迎えることとなります。

皆様のクラブが、自ら策定した戦略計画に基づき、大きな変革を実現し、より良きクラブ、より充実したロータリーライフを堪能されますことを心からご祈念申し上げまして感謝いたします。本当にありがとうございました。



[今後の主なセミナー]

2019	6	22	土	午後	地区会員増強セミナー	伊勢崎フリオリス
	7	13	土	終日	インターアクト年次大会	太田市立太田高等学校
	8	3	土		RLIディスカッションリーダー研修会	前橋問屋センター会館
	8	24	土	午後	ロータリー財団セミナー	伊勢崎フリオリス
	8	24	土	午後	女性ネットワーク拡大会議	伊勢崎フリオリス
	8	24	土	午後	地区女子会	伊勢崎フリオリス
	9	7	土	午後	第1回新会員セミナー	伊勢崎フリオリス
	9	22	土	終日	RLIセミナー Part I	前橋問屋センター会館

公益財団法人ロータリー米山記念奨学会マンスリーニュース



ハイライトよねやま

2019.5.13

Vol.230

台湾の学友、栄誉ある賞に輝く



【日経アジア賞】台湾海洋大学終身教授の廖一久さん（1965-68／田原RC）が、第24回日経アジア賞（科学技術部門）を受賞しました。同賞は、日本経済新聞社が新聞創刊120周年を記念して1996年に創設したもので、経済、科学技術、文化・社会の3部門でアジアの発展と繁栄に貢献した人々を



たたえる目的で、各部門1人または1団体を毎年表彰。今回で24回目となります。

「エビ養殖の父」として知られる廖さんは、平成26年度外国人叙勲において旭日中綬章を受章。最近のニュースとして、台湾の「廖一久院士之友會」（廖一久院士の友の会）では、博物館を設立、その建設費を募集中とのことです。今回の表彰式は、来る5月29日に東京の帝国ホテルにて行われます。

栄えある受賞、おめでとうございます！

廖一久さんからのメッセージ

今回、第24回日経アジア賞・科学技術部門に選ばれたことは、私が貴国に留学し、学んだ科学技術を母国台湾の水産養殖産業に貢献したこと、およびアジア各国に息長く大きな貢献を続けている点が強調されたことだと思います。留学中、米山奨学生に選ばれたことが大きな契機だと思います。2018年、ロータリー米山記念奨学会財団設立50周年記念式典にて、19,808人（当時）の米山学友代表としてご挨拶させていただいたことも大事なことだと思います。私の成長段階において多くの恩師のご鞭撻、友人達および米山の皆様の励ましを忘れることは出来ません。そして今日まで私を育て、暖かく見守ってくれた両親、家族、親戚に、心から感謝いたします。



【経済省国家産業革新賞（台湾）】

台湾・経済省による第6回国家産業革新賞（原文：國家産業創新獎）の授賞式が4月10日に行われ、国立政治大学商学研究科の教授を務める米山学友、呉安妮さん（東京三鷹RC）が女性賞を受賞、陳建仁副総統からトロフィーが授与されました。

同賞は台湾産業界のオスカーとして知られ、産業界に甚大な貢献をした者に贈られる最高の栄誉です。呉さんは33年にわたって新管理会計システム「AVM(Activity Value Management)」の

理論研究と実践検証を重ね、台湾における新管理会計制度を開発。このAVMを導入し、呉さんがコンサルティングをした企業では収益が大幅にアップしているとのことです。呉さんは、台湾米山学友会の推薦で来日し（海外学友会推薦奨学金：SY-A奨学金）、2003年7月から翌年2月末まで一橋大学で研究活動を行う期間、米山奨学生となりました。「台湾に経済的奇跡を起こしたい。AVMでより多くの台湾企業を助け、人材を育て、国に貢献したい」と、呉さんは語っています。

寄付金速報 — 残り2カ月、さらなる支援を —

4月までの寄付金は前年同期と比べて2.1%減（普通寄付金：0.5%減、特別寄付金：2.9%減）約2,650万円の減少となりました。

10連休という長いGWを控えた影響もあってか、前月よりも減少幅が広がり、また、直近5年間の同期累計平均額と比較しても、今月の累計額は約230万円下回る結果となりました。

今年度も残すところ2カ月。ロータリアンの皆様の変わらぬご支援に、厚く御礼申し上げます。なお、今年度（半期ごとの納入クラブは後期分）の普通寄付金をまだ送金していないクラブがありましたら、お早目にお送り下さいますようお願い申し上げます。

米山学友が絵画大賞を受賞 — 上野の森美術館大賞展 —

米山学友の張媛媛さん（2018-19／東京江北RC）が「第37回 上野の森美術館大賞展」で絵画大賞を受賞しました。

同展は、素材の違いや抽象・具象といった既成の尺度にとらわれず、個性豊かな作家を顕彰する全国公募の展覧会で、今回は入選作品142点（応募は843点）の中から、張さんの作品《トト曼荼羅》（エンカウスティーク・岩絵具）が最高賞の絵画大賞に選ばれました。

この作品は、古代ローマに紀元を持つエンカウスティーク（焼き付けた蜜蝋）技法と中国古来の遠近法を用いつつ現代の要素を取り入れたもので、審査にあたった委員からは「描かれた魚のこの呑気で楽しげな表情は他にはないもの」「画肌は日本画の古画のような風合いで、僅かな色彩の岩絵具



のみで極力薄く描き切っているところに魅力がある」等、高い評価を受けました。

張さんはこの3月に東京藝術大学大学院を卒業。「米山奨学生としてロータリアンの方々と接し、頑張る力と沢山のエネルギーをいただいた。米山奨学金がなければ、この作品は完成しえなかったと思っています」と、真剣なまなざしで感謝を述べました。

上野での展示は5月8日で終了しましたが、巡回展として京都文化博物館で6月18日（火）～23日（日）まで展示されます。今回

の大賞受賞により、2021年に個展を開催することも決定したそうです。今後の活躍が期待される若い作家に、今後も声援をよろしくお願い致します。

授賞式（中央が張さん）にて、東京江北RC会長・カウンセラーご夫妻、東京学友会梁理事長、横浜国大教授と。

博士号取得状況 — ご報告お待ちしております —

2018 学年度（2018 年 4 月～2019 年 3 月）に博士号を取得した奨学生・学友は 35 人、これまでの累計では 3,711 人となりました（5 月 10 日現在）。

米山記念奨学会では、博士号を取得した奨学生・学友に、お祝いの腕時計をお贈りしています（奨学期間終了後の取得でもOK!）。名前入りの、世界にただ一つの腕時計となっております、大変好評です。博士号を取得した奨学生・学友の皆さんは、米山事務局に報告してください。

- お届け先は、原則として世話クラブです
- 完成まで約2週間かかります

申請方法 「学位記の写真」が「学位取得証明書」を世話クラブ経由で米山奨学会へ FAX またはメールでお送りください。

(FAX : 03-3578-8281 / Eメール : scholars@rotary-yoneyama.or.jp)



ぜひ世話クラブの例会で贈呈を!

文字盤の裏にお名前が入ります



公益財団法人ロータリー米山記念奨学会
〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 3F
Tel : 03-3434-8681 Fax : 03-3578-8281

E-mail : highlight@rotary-yoneyama.or.jp
URL : <http://www.rotary-yoneyama.or.jp/>
編集担当 : 野津(のづ)・峯(みね)

ガバナー事務所よりお願い

ガバナー月信に関して

- 原稿の締め切りは、毎月 15 日です。ワードまたはエクセル書式で作成の上、メール添付しガバナー事務所 miyauchi@rid2840.jp まで送信してください。なお、写真等の画像がある場合は、デジタルデータでお送りください。
- 新会員情報並びに訃報の締め切りは、毎月 15 日です。(15日以降のご連絡分につきましては、次月号の掲載となります。)新会員につきましては氏名、入会日、職業分類、勤務先、役職、推薦者氏名を記入の上、写真を添えて、ガバナー事務所ホームページの専用欄かメールにてお送りください。なお、訃報につきましてはクラブ会長様に 250 字以内で追悼文を作成いただき、ご連絡をお願い致します
- この月信のPDFデータを印刷してクラブの第一例会で会員の皆様に回覧いただきたく存じます。よろしくお願ひいたします。

表紙写真解説：花菖蒲まつり 館林花菖蒲園（つつじが岡第二公園）

270品種40万本の花菖蒲が咲き乱れます。花菖蒲まつり期間中は、花摘み娘による花がら摘み等のイベントや山形県天童市のさくらんぼ・物産品の販売などが開催され賑わいます。